

2024-2025 年度 金沢大学附属病院薬剤部 常勤薬剤師（新卒者・既卒者） 募集要項

金沢大学附属病院は、高度医療の提供、開発、評価および研修を行う特定機能病院で北陸の高度医療の拠点に位置付けられています。本院は、国内で最も古くから薬剤師の病棟常駐を始めた病院の一つで病棟薬剤業務実施加算の算定施設です。本院の薬剤師は感染制御(ICT/AST)、栄養サポート(NST)、緩和ケア、糖尿病透析予防など様々なチーム医療に積極的かつ密接に関わっています。本院は、日本病院薬剤師会や日本医療薬学会等が認定する研修施設で、がん、緩和、感染症、NST、精神科、糖尿病、腎臓病、心不全療養、医療情報、臨床薬理など様々な認定薬剤師、専門薬剤師、指導薬剤師を多数輩出しており、本院での勤務歴を有する薬剤師、大学院生として学位を取得した薬剤師は全国で活躍しています。特に、2017年度からは5年任期常勤職員を対象にして幅広い領域でバランスが取れて優れた薬剤師を育成する5年間のレジデント型卒後教育プログラム『金沢大学薬剤師スタンダード：KUPS』を開始し、さらに2023年度から石川県等と連携して本院と地域病院を3年ずつローテーションする『地域連携薬剤師共育プログラム』と『修学資金返済支援制度』を加え人材育成に力を入れています（詳細は別紙資料ご参照ください）。

この度、本院として2024-2025年度の常勤薬剤師を募集します。貴方も是非、本院にて薬剤師職能を磨き、来るべき2040年の医療を先導して下さい。

1. 募集人員 常勤薬剤師（5年任期） 若干名
常勤薬剤師（石川県地域連携薬剤師共育プログラム、任期付）1名
2. 応募資格 心身ともに健康で薬剤師免許取得済みの者あるいは見込みの者
3. 採用予定日 選考後出来るだけ早い日（薬剤師免許取得済みの者）
または 2025年4月1日付（薬剤師免許取得見込みの者）
4. 提出書類 履歴書（下記の本院薬剤部HPからダウンロードしA3版で提出すること）
URL：<http://pharmacy.w3.kanazawa-u.ac.jp/>
以下の書類は、採用決定後提出
高校、大学及び大学院の卒業、修了（見込み）証明書、
薬剤師免許証写し、健康診断書（当院指定の用紙）
5. 書類提出・問合せ・資料請求先（KUPSプログラムガイドブック、石川県地域連携薬剤師共育プログラム、修学資金返済支援制度等の資料を配布しています）
〒920-8641 金沢市宝町13番1号 金沢大学附属病院薬剤部
薬務室 坪内 清貴 TEL 076-265-2047
E-mail：kiyotaka@staff.kanazawa-u.ac.jp（@は小文字）
URL：<https://pharmacy.w3.kanazawa-u.ac.jp/>
応募書類は封筒に「薬剤師応募書類在中」と朱書し郵送してください。
6. 提出期限 2024年4月22日（月）16時必着（4月26日採用試験分）
または 5月7日（火）16時必着（5月11日採用試験分）

7. 選考方法 筆記試験（臨床薬剤学、小論文）、面接
8. 試験日 2024年4月26日（金）午前10時～
または 5月11日（土）午後1時～（詳細は後日個別に連絡します）

別紙資料

- ・ KUPS プログラムガイドブック

<https://pharmacy.w3.kanazawa-u.ac.jp/pdf/20200330-04.pdf>

金沢大学附属病院の人材育成システム KUPS（Kanazawa University Pharmacist Standard）は 5 年間の任期付き常勤職員（KUPS 薬剤師）としての育成プログラムで、本院薬剤部の将来ビジョンと各個人のキャリアプランと人生設計を踏まえつつ、各個人に秘められた可能性を最大限に引き出すことを目的としています。医師の卒後初期研修にあたる期間（1～2 年目）は中央部門を中心に基本的な技術を修得します。1 年目の後半から病棟にも出向き、病棟の専任薬剤師のサポーターとして病棟活動を始め、半年ごとに内科系・外科系病棟、外来化学療法室、治験センターをローテーションし、最初の 2 年間で基本的な業務を適切に行えるレベルになることを目指します。さらに、後期研修にあたる期間（3～5 年目）は主担当として病棟や外来化学療法室の専任薬剤師として本院の高度なチーム医療に参画します。所定の要件を満たした後に、認定バッジが授与されます。

- ・ 石川県地域連携薬剤師共育プログラム
- ・ 石川県薬剤師修学資金返済支援事業

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/yakuji/ykj/hpp.html>

『地域連携薬剤師共育プログラム』とは、石川県において薬剤師が不足する地域・医療機関等における薬剤師の確保と、対象薬剤師の能力の開発・向上の両立のため、複数の病院への就業により認定・専門資格の取得に必要な経験を得ることができるプログラムです。

具体的には、がん専門薬剤師、感染制御専門薬剤師、緩和医療専門薬剤師、精神科専門薬剤師、NST 専門療法士、糖尿病療法指導士、心不全療養指導士などの専門認定資格の取得環境を提供できる本院のような基幹病院と、地域密着型医療を提供する公立宇出津総合病院などの地域病院とが連携して、新卒及び既卒の薬剤師の認定資格の取得を支援し 2040 年の地域医療をリードする優れた医療人材を育成する「基幹病院 3 年＋地域病院 3 年の合計 6 年間のプログラム」です。

『修学資金返済支援制度』とは、6 年間の共育プログラムの満了を条件として、在学中に借り入れた修学資金の返済を一人最大 240 万円の支援を行うものです。

いずれも、石川県、石川県薬剤師会、石川県病院薬剤師会、金沢大学、北陸大学との連携による病院薬剤師確保対策事業の一環として 2023 年度に開始したもので、全国に先駆けた画期的なプログラムとして注目を集めています。

（薬事日報記事 URL <https://pharmacy.w3.kanazawa-u.ac.jp/pdf/20230427-03.pdf>）